

2025年5月10日 | セミナー資料 | SBI証券ETFセミナー2025

米国個人投資家に大人気！毎月分配・「ハイインカム」の カバコ*ETFとは？～J.P.モルガンが語る！ETFによる資産運用術～

*カバード・コール戦略

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

本映像は「SBI証券ETFセミナー」において使用されるものです。当社グループの意見、推測、予測、記述は作成時点のものであり、投資判断に影響しています。またこれらは予告なく変更となることがあります。これらは将来を保証するものではありません。資料内に記載の個別銘柄は、売買の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇およびファンドへの組入れを保証するものではありません。資料内のアイコンはイメージです。特段の記載のない限り、\$、ドルは米ドルを示します。

「リスク、手数料、本映像に関する注意事項について」を必ずご覧ください。

J.P.Morgan
ASSET MANAGEMENT

世界有数の金融サービス会社「JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー」 の資産運用部門が運用

JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーの米国銀行セクター・ランキングにおけるNo.1の例



株式時価総額
第1位



預金総額
第1位



純営業収益
第1位

J.P.モルガン・アセット・マネジメント

グローバルネットワークを活用した幅広い運用サービスを展開

アクティブ運用に強み

約**547**兆円

世界有数の運用資産

約**1,280**名

運用プロフェッショナル

550超

運用戦略数

20カ国・地域以上

世界の拠点所在国・地域

約**10,900**件

年間企業ミーティング数

2024年ランキング
アクティブETF資産流入額 **第1位**

2024年、2025年アワード*
ベストETFマネージャー

*出所: AsianInvestor 「ベストETFマネージャー (Best ETF Manager)」はAsianInvestor Asset Management Awards 2024、AsianInvestor Asset Management Awards 2025の受賞に基づき記載。2023年12月末時点及び2024年12月末時点において過去1年間の運用実績等をAsianInvestorが評価し公表。当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

出所: J.P.モルガン・アセット・マネジメント 2024年12月末現在 (運用資産額は2024年12月末現在の為替相場により円換算)

出所: ブルームバーグ、J.P.モルガン・アセット・マネジメント

「JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーの米国銀行セクター・ランキングにおけるNo.1の例」は、GICSのセクター分類にて、「銀行」に属する米国企業の2024年12月末時点の株式時価総額および預金総額、2024年の純営業収益のランキングです。

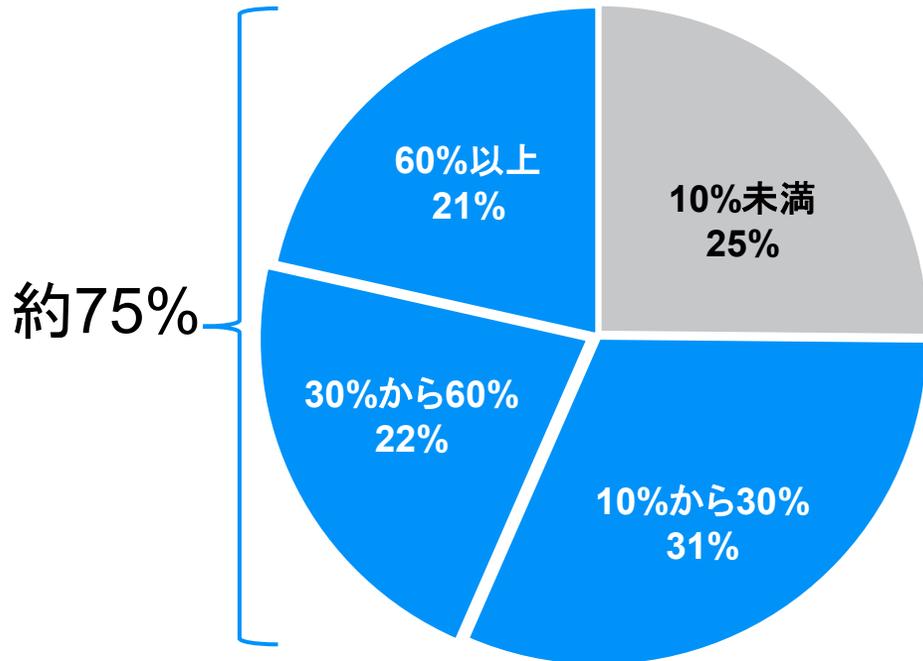
2024年12月末現在 (運用資産額は2024年12月末現在の為替相場により円換算)

海外の投資家動向

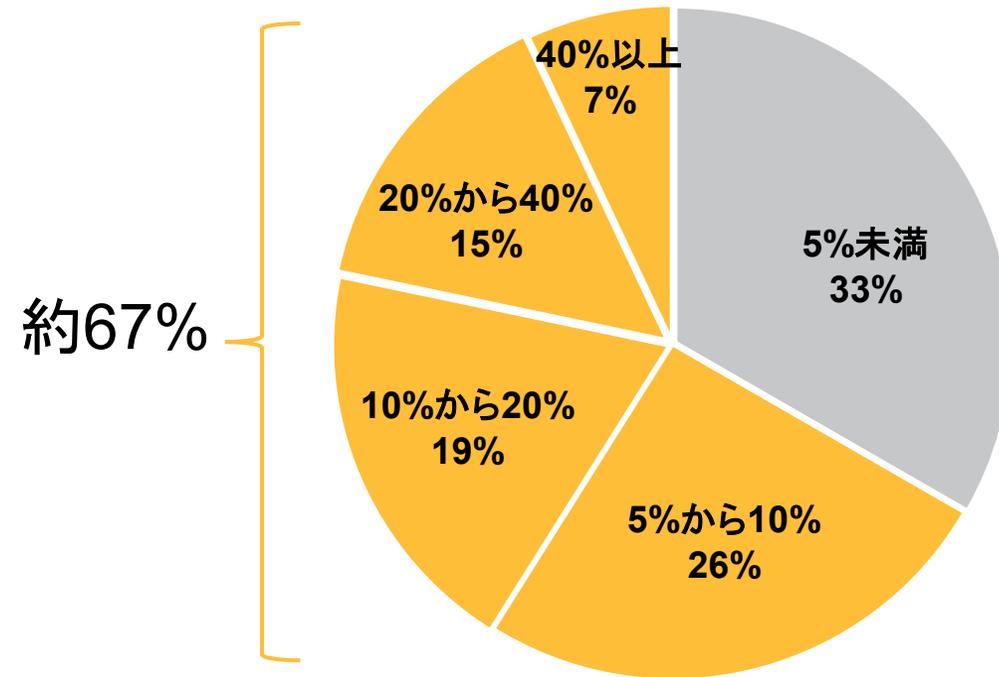
約7割の投資家がポートフォリオの10%以上をETFへ資産配分

約7割の投資家がポートフォリオの5%以上をアクティブETFへ資産配分

現在、ETFに
どのくらい投資していますか？



現在、アクティブETFに
どのくらい投資していますか？



出所: Trackinsight 2024 2024年2月公表 北米の投資家動向をお示しています。

アクティブETFはアクティブ運用とETFの特徴を兼ね備えた金融商品

- ✓市場を上回るパフォーマンスを目指す
- ✓アナリストの調査を活用し、ポートフォリオ・マネジャーによって運用

- ✓ 日次透明性
- ✓ 税効率
- ✓ 流動性
- ✓ コスト効率性
- ✓ 柔軟性

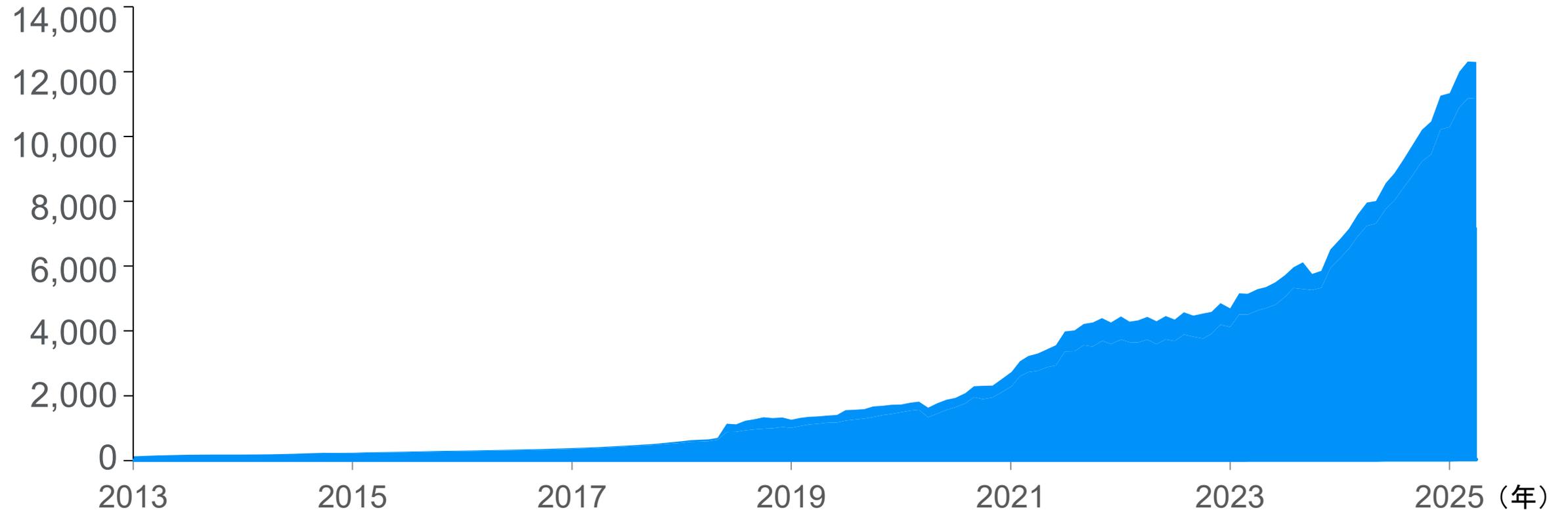


出所: J.P.モルガン・アセット・マネジメント 上記は2025年4月時点のJ.P.モルガン・アセット・マネジメントの意見、見解を示すものです。上記はイメージです。「アクティブETF」の「アクティブ」とは調査および分析に基づく銘柄選択により中長期的に資産の成長を目指す運用方法を指します。

世界のアクティブETF市場の純資産総額推移

世界のアクティブETFの純資産総額は毎年52%*成長し、約1.2兆米ドル(約184兆円)まで拡大

(億米ドル)



出所: ブルームバーグ、期間 2013年1月2日~2025年3月31日 アクティブ運用を行う、ETFを含むETP(上場取引型金融商品)の総資産額の推移。*年平均成長率(CAGR)は2017年1月1日~2025年3月31日を算出。アクティブETFの純資産総額は2025年3月末現在(同日の為替相場により円換算。)

JEPI、JEPQの主な特徴

JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF (JEPI)

JPモルガン・ナスダック米国株式・プレミアム・インカムETF (JEPQ)

1. カバード・コール戦略によるプレミアム

2. 主な投資対象はアメリカの大型成長株

3. 毎月分配を目指すインカム追求型ETF

多様な市場環境への備えとしても有効なカバード・コール戦略

JEPI/JEPQの運用戦略

米国株式の保有

+

米国株式を対象とした
コールオプションの売り

メリット

米国株式の株価変動に関係なく、
コールオプションの売りによるプレミアムの獲得ができる

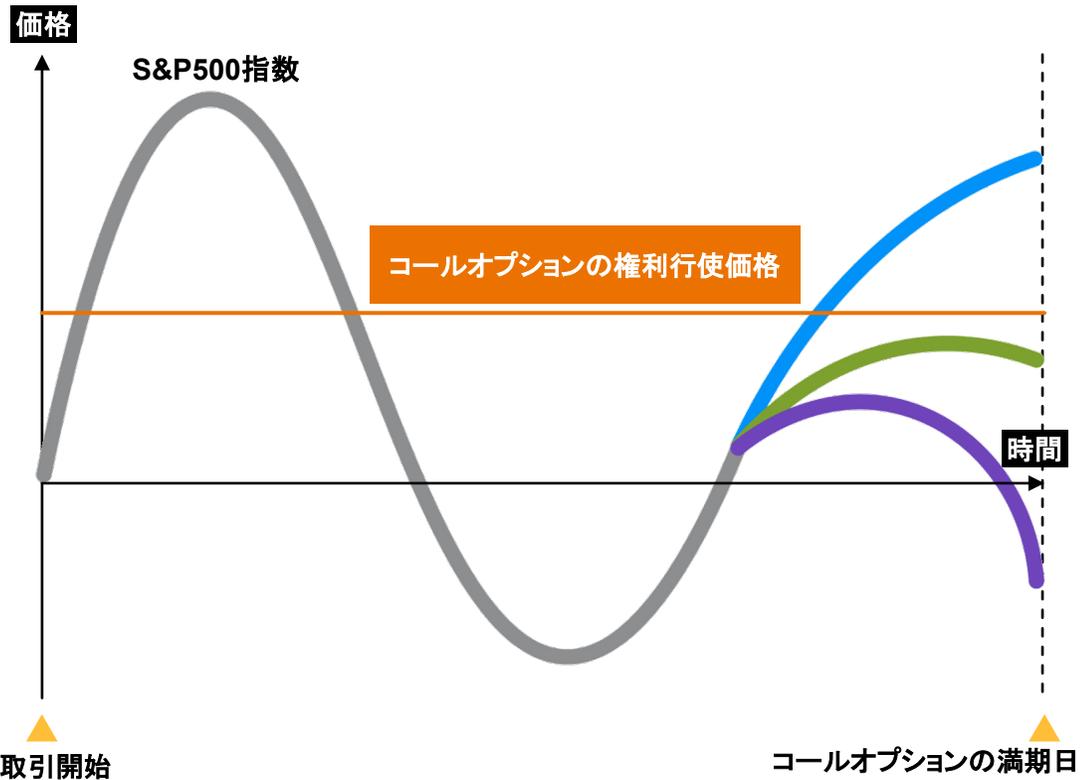
デメリット

米国株式の株価上昇による値上がり益が限定的
(S&P500やナスダック上場株式が大きく上昇した場合、コールオプションの権利行使価格までの範囲で値上がり益を享受し、それ以上の上昇分を放棄)

カバード・コール戦略が有効な市場環境とは

- 米国株式の現物とコールオプションの売りを組み合わせたポートフォリオの有効性を、「S&P500指数への投資とS&P500指数を対象としたコールオプションの売りを行ったポジション」で検証してみると、S&P500指数がコールオプションの権利行使価格とプレミアムを合わせた水準を超えて上昇しない限り、S&P500指数のみへの投資と比べて優位であることが分かります。
- カバード・コール戦略は、投資対象となる株式市場の変動性が高くなく、短期間での株価の急上昇が見込まれない環境においてより有効であると考えています。

「S&P500指数への投資とS&P500指数を対象としたコールオプションの売りを行ったポジション」と「S&P500指数への投資のみ」を行った場合の比較



ケース①	S&P500指数がコールオプションの権利行使価格を超えて上昇	
当ポジションからの収益		S&P500指数のみとの比較 S&P500指数が権利行使価格とプレミアムの水準を超えて上昇する場合、不利
ケース②	S&P500指数がコールオプションの権利行使価格を下回る上昇	
当ポジションからの収益		S&P500指数のみとの比較 プレミアム分、有利
ケース③	S&P500指数が下落	
当ポジションからの収益		S&P500指数のみとの比較 プレミアム分、有利

上記は、S&P500指数とS&P500指数のコールオプションの売りを用いて、市場環境に応じた当運用戦略の有効性を簡便的に検証したものであり、当社グループのETFのものではありません。また、すべてを網羅するものではありません。

JEPI/JEPQの主な特徴～投資対象は米国大型株



JEPI

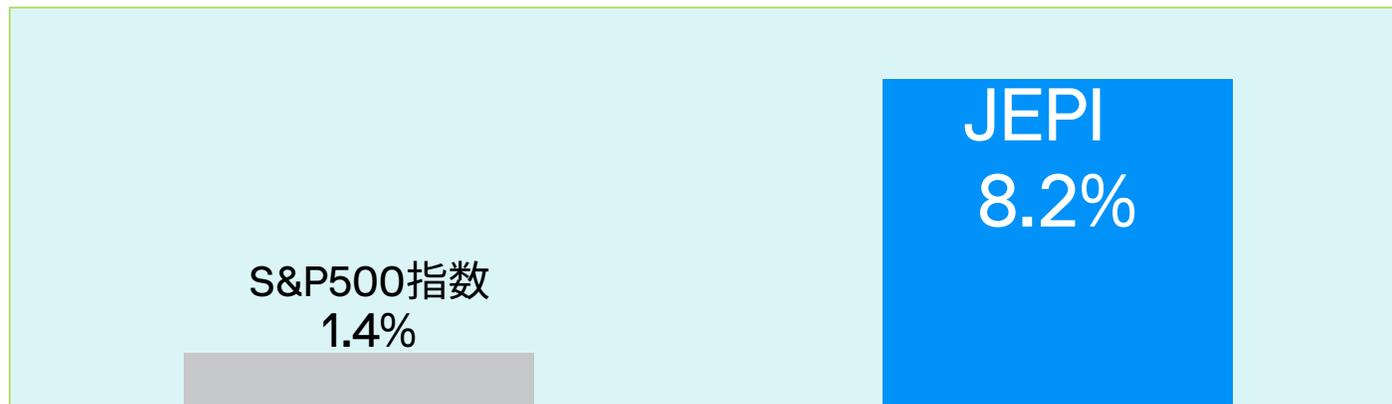
S&P500指数
中心

JEPQ

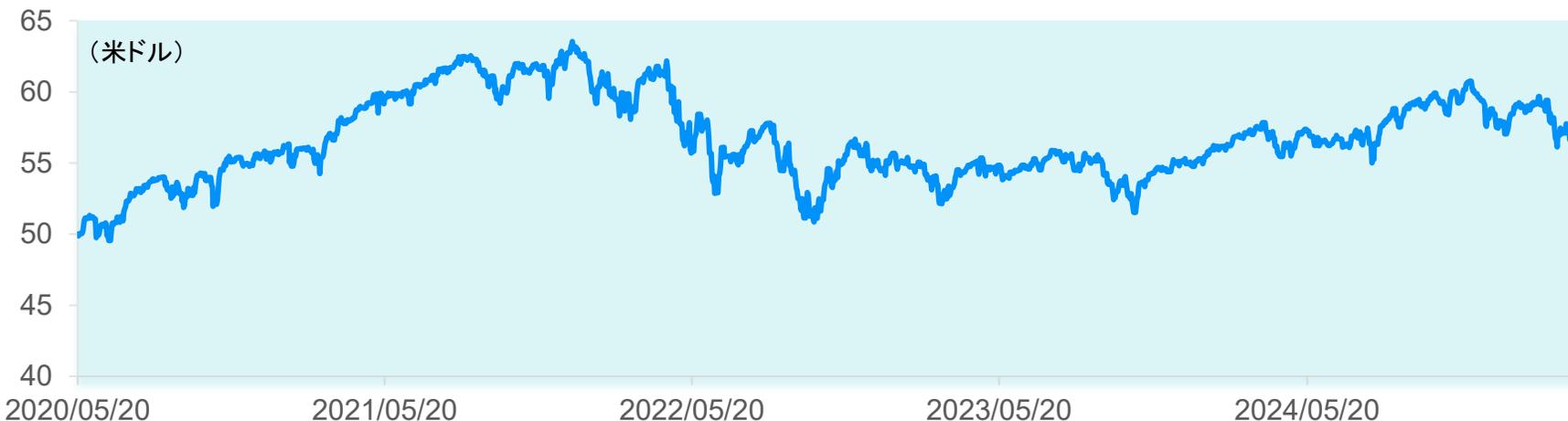
ナスダック
100指数
中心

JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF (JEPI)

JEPIとS&P500指数のインカム*比較(2025年3月末現在)



設定来基準価額の推移(2020年5月20日～2025年4月17日)



出所:ブルームバーグ、J.P.モルガン・アセット・マネジメント 基準価額は1口当たり、日々管理報酬を差し引いて計算されます。上記は過去の運用実績です。分配金を含め、上記のすべての結果について税金が考慮されておらず、また、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。必ず分配が行われるものではありません。

直近の分配金(2025年4月17日現在)

	1口当たり税引前分配金
2024/5/1	\$0.33
2024/6/3	\$0.36
2024/7/1	\$0.33
2024/8/1	\$0.29
2024/9/3	\$0.40
2024/10/1	\$0.39
2024/11/1	\$0.38
2024/12/2	\$0.40
2024/12/31	\$0.39
2025/2/3	\$0.33
2025/3/3	\$0.33
2025/4/1	\$0.41
直近1年の分配金合計額	4.33米ドル

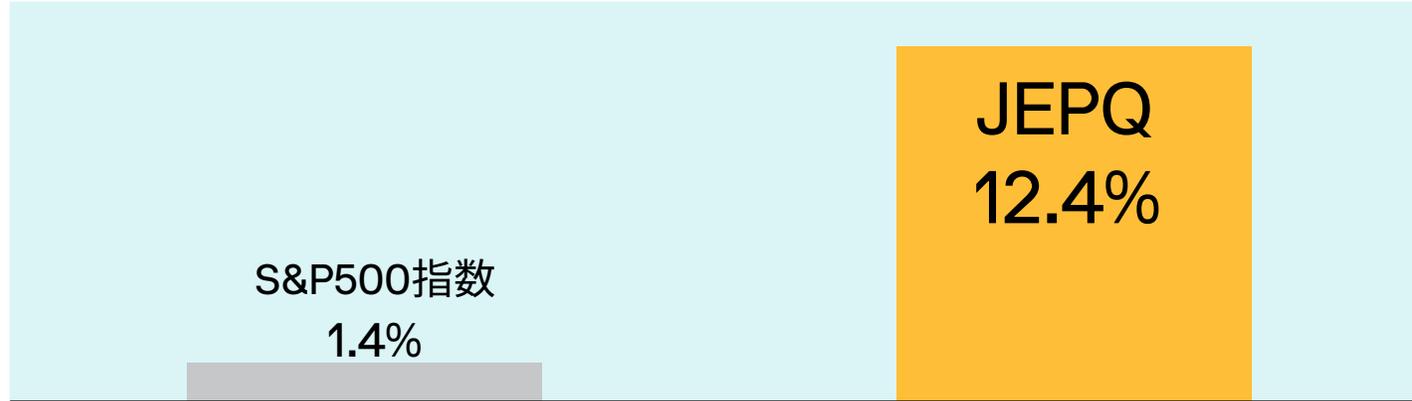
出所:J.P.モルガン・アセット・マネジメント

四捨五入の関係で上記分配金の合計が「直近1年の分配金合計額」とならない場合があります。

*JEPIのインカムは30日SEC利回りを記載しています。30日SEC利回りとは、米国証券取引委員会(SEC)が定めた方法で、過去30日間で上場投資信託(ETF)が運用の結果獲得したインカム(株式の配当金やオプションプレミアムなど)から費用を控除したものを基準日の市場価格で割って年率換算したものです。費用の割り戻し等が調整されたSubsidizedと調整前のUnsubsidizedがありますが数値は同一です。S&P500指数のインカムは過去1年間の配当金を基準日の株価で割った数値を時価加重平均したものです。上記は過去のデータを用いて投資リターンの一部であるインカムに着目した比較であり、将来の投資利回り(トータルリターン)を示唆、保証するものではありません。S&P500指数はJEPIのベンチマークです。

JPモルガン・ナスダック米国株式・プレミアム・インカムETF (JEPQ)

JEPQとS&P500指数のインカム*比較(2025年3月末現在)



直近の分配金(2025年4月17日現在)

分配日	1口当たり税引前分配金
2024/5/1	\$0.43
2024/6/3	\$0.45
2024/7/1	\$0.42
2024/8/1	\$0.43
2024/9/3	\$0.56
2024/10/1	\$0.55
2024/11/1	\$0.49
2024/12/2	\$0.51
2024/12/31	\$0.46
2025/2/3	\$0.45
2025/3/3	\$0.48
2025/4/1	\$0.54
直近1年の分配金合計額	5.77米ドル

設定来基準価額の推移(2022年5月3日~2025年4月17日)



出所:ブルームバーグ、J.P.モルガン・アセット・マネジメント 基準価額は1口当たり、日々管理報酬を差し引いて計算されます。上記は過去の運用実績です。分配金を含め、上記のすべての結果について税金が考慮されておらず、また、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。必ず分配が行われるものではありません。

出所:J.P.モルガン・アセット・マネジメント

四捨五入の関係で上記分配金の合計が「直近1年の分配金合計額」とならない場合があります。

*JEPQのインカムは30日SEC利回りを記載しています。30日SEC利回りとは、米国証券取引委員会(SEC)が定めた方法で、過去30日間で上場投資信託(ETF)が運用の結果獲得したインカム(株式の配当金やオプションプレミアムなど)から費用を控除したものを基準日の市場価格で割って年率換算したものです。費用の割り戻し分等が調整されたSubsidizedと調整前のUnsubsidizedがありますが数値は同一です。S&P500指数インカムは過去1年間の配当金を基準日の株価で割った数値を時価加重平均したものです。上記は過去のデータを用いて投資リターンの一部であるインカムに着目した各資産の比較であり、将来の投資利回り(トータルリターン)を示唆、保証するものではありません。S&P500指数は米国株式市場を代表する目的で示しており、JEPQのベンチマークではありません。

J.P.モルガンのアクティブETF:米国籍のETFを日本の投資家の皆様に

世界最大の
アクティブETF残高¹

2025年米国アクティブ
ETF資金流入額第2位²

世界最大の債券型
アクティブETF残高¹

インカム追求型 着実にインカムを獲得しつつ資産の成長も目指す

名称	純資産総額 (百万米ドル)	運用管理費用等 ³
JPモルガン・米国株式・プレミアム・インカムETF (JEPI)	39,448	0.35%
JPモルガン・ナスダック米国株式・プレミアム・インカムETF (JEPQ)	22,775	0.35%
JPモルガン・ウルトラショート・インカムETF (JPST)	31,413	0.18%

成長重視型 長期的な資産の成長を追求する

名称	純資産総額 (百万米ドル)	運用管理費用等 ³
JPモルガン・グローバル・セレクト株式・アクティブETF (JGLO)	6,587	0.47%
JPモルガン・米国グロース株式・アクティブETF (JGRO)	4,804	0.44%
JPモルガン・米国バリュー株式・アクティブETF (JAVA)	3,208	0.44%

リスク低減型 市場の価格変動によるリスクを低減する

名称	純資産総額 (百万米ドル)	運用管理費用等 ³
JPモルガン・ウルトラショート・インカムETF (JPST)	31,413	0.18%

アクティブもパッシブ。J.P.モルガンのETFラインアップ
お客様のポートフォリオにおける新たな投資手段としてのETF。

QRコード  <<< J.P.モルガンのETFラインアップについてはこちらをご覧ください。

※「インカム追求型」と「リスク低減型」に記載のJPモルガン・ウルトラショート・インカムETF (JPST)は、同一のファンドです。

¹出所:ブルームバーグ、モーニングスター、J.P.モルガンアセット・マネジメント 2025年3月末現在 データは米国ETFおよびUCITSのETFのみ

²出所:ブルームバーグ、ファクトセット、J.P.モルガンアセット・マネジメント 2025年3月31日現在 データはMMFとETNを除く米国でのアクティブETFの資金流入ランキングによるもの

(純資産総額) 出所:J.P.モルガンアセット・マネジメント 2025年3月31日現在

³保有期間中に受益者が実質的に負担する管理費用(%) 海外上場投資信託(ETF)への投資にかかる手数料等;海外ETFにご投資いただく際には、前述のファンドの費用のほか、取扱い金融商品取引業者(証券会社等)の定める手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。

J.P.モルガンのパッシブETF：あなたのETFよりもきっと低コスト～低コストの「新常識」とは？

主な投資対象	ティッカー	ETF名	カテゴリー	NISA対象	運用管理費用等*	ベンチマーク
米国株式	BBUS	JPモルガン・ベータビルダーズ・米国株式ETF	成長重視型	○	0.02%	モーニングスター米国・ターゲット・マーケット・エクスポージャー指数
日本株式	BBJP	JPモルガン・ベータビルダーズ・日本株式ETF	成長重視型	○	0.19%	モーニングスター日本・ターゲット・マーケット・エクスポージャー指数
米国投資適格債券	BBAG	JPモルガン・ベータビルダーズ・米国総合債券市場ETF	インカム追求型		0.03%	ブルームバーグU.S.アグリゲート・ボンド・インデックス
米国ハイ・イールド債券	BBHY	JPモルガン・ベータビルダーズ・米国ハイイールドETF	インカム追求型		0.07%	ICE BofA USハイ・イールド・インデックス
米国リート	BBRE	JPモルガン・ベータビルダーズ・MSCI米国リートETF	成長重視型	○	0.11%	MSCI米国リート・カスタム・キャプト指数



アクティブもパッシブ。J.P.モルガンのETFラインアップ
お客様のポートフォリオにおける新たな投資手段としてのETF。

<<< J.P.モルガンのETFラインアップについてはこちらをご覧ください。

*保有期間中に受益者が実質的に負担する運用管理費用(%)

海外上場投資信託(ETF)への投資にかかる手数料等：海外ETFにご投資いただく際には、前述のファンドの費用のほか、取扱い金融商品取引業者(証券会社等)の定める手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。

リスク、手数料、本映像に関する注意事項について

本映像はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(以下、「当社」という。)が作成したものです。当社は信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本映像を作成しておりますが、当該情報が正確であることを保証するものではなく、当社は、本映像に記載された情報を使用することによりお客さまが投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。本映像に記載された意見・見通しは表記時点での当社および当社グループの判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは将来予告なしに変更されることがあります。本映像のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点における当社および当社グループの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定・運用する上記の上場投資信託(ETF)は海外の金融商品取引所に上場している海外ETFです。外国投資信託に関する届出書を金融庁に提出しており、日本の投資家は金融商品取引業者においてお取引いただけます。なお、日本国内の取引所には上場していません。取扱い金融商品取引業者(証券会社等)は変更になる場合がありますのでご了承ください。

海外上場投資信託(ETF)への投資にかかる手数料等およびリスクについて

手数料等: 海外ETFにご投資いただく際には、前述の費用のほか、取扱い金融商品取引業者(証券会社等)の定める手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。

リスク: 海外ETFは、対象とする指数や組み入れ銘柄の株価等の変動、並びにETFの取引通貨や現地通貨の為替変動の影響により当該ETFの市場取引価格または基準価額が変動し、下落した場合は、損失を被ることがあります。海外ETFへご投資される場合には、取扱い金融商品取引業者へお問い合わせいただき、投資にかかる手数料等およびリスクについてご確認の上、ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、当社ホームページ(<https://am.jpmorgan.com/jp/ja/asset-management/per/>)には、商品の詳細について、各ファンドのページの各種書類-プロスペクトス(英語)もごございます。

本映像に掲載されている海外ETFは、J.P.モルガン・アセット・マネジメントの日本法人であるJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社が設定および運用するものではありません。J.P.モルガン・アセット・マネジメントの海外関係会社が設定・運用する海外ETFに関する情報提供を行うものです。なお、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社においてはお客さまに金融商品取引の執行に関わるサービスは行っておりません。ご購入等の金融商品取引を行う場合は、海外の上場有価証券を取り扱う証券会社にお問い合わせください。

J.P.モルガンは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよびその各国子会社または関連会社のマーケティングネームです。

J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

本映像で使用している指数について

- S&Pの各指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが発表しており、著作権はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCに帰属しています。各インデックスの円ベースは、当社が発表した各インデックスを委託会社にて円ベースに換算したものです。

本映像は、日本の居住者の利用に供する目的で作成されたもので、その他の国の居住者を対象とするものではありません。本映像は、J.P.モルガン・アセット・マネジメントに関する情報のほか、証券投資一般等に関する情報提供を目的としたものであり、証券投資につき、勧誘を目的としたものではありません。本映像は、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが信頼性が高いとみなす情報等に基づいて作成しておりますが、その正確さを保証するものではなく、本映像に掲載された情報を使用することにより被った損害を補償するものではありません。本映像に掲載された意見・見通し等は表記時点あるいは掲載時点でのJ.P.モルガン・アセット・マネジメントの判断を反映したものであり、今後変更されることがあります。J.P.モルガン・アセット・マネジメントまたはその日本法人であるJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社、それらの従業員は本映像で言及している有価証券を保有している場合があります。

商号等: JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第330号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

SBI証券からのご留意事項

- 本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。SBI証券は、セミナー及び資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。また、過去の実績や予想等は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。商品ご購入の最終決定は、商品の内容、リスク及び費用等を十分ご理解いただきましたうえで、お客様ご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。
- ご投資にあたっては、商品概要や目論見書（目論見書補完書面）をよくお読みください。
- SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

SBI証券

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会